

新社会

発行所：新社会党
 〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
 TEL 03 (6380) 9960 FAX 03 (6380) 9963
 振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料 1ヵ月164円

新社会千葉

2018年2月 185号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル 401
 TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
 E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
 HP URL:http://sinsya.webcrow.jp/



多くの支援者も参加して「新春のつどい」開く

3000万署名をやりきる 憲法改悪を許さない

県本部「新春のつどい」開く

1月20日、県本部は、習志野市内で「新春のつどい」を開きました。「憲法を活かす会・千葉県協議会」以下「憲法を活かす会」と共催。第1部は、憲法を活かす会の上野建一運営委員長が「今の情勢の中で、悪いのはトランプであり、それより悪いのは安倍内閣。朝鮮を一番挑発しているのも安倍内閣。日本が戦争できる国にするために憲法を改悪しようとしている。何としても阻止したい。憲法を活かす会の運動をさらに広げるため協力してほしい」とあいさつ。引き続きの「新春

秋葉米県本部顧問(前委員長)の発声で乾杯したあと懇談に移りました。各テーブルのお料理や飲み物の他、各総支部が持ち寄った日本酒、焼酎、ウイスキー、ワインなどの「利き酒コーナー」も好評で、各地の地酒や銘酒、普段は飲めない大吟醸酒など、毎年楽しみみの一つとなっています。アトラクションは、今年も「LMSジャズオーケストラ」。呑んでいる席にビッグバン

ドのBGM演奏など大変な盛り上がり、毎年楽しみにしているファンも多くいます。演奏曲目の中心はグレンミラーなどのスイングジャズですが、4年目となる今年は、趣向を変えて日本的な曲も、とお願ひしたところ、「串本節」「北海盆歌」「相馬盆歌」「ソーラン節」やアンコール曲を含めて12曲も演奏していただきました。チーム名の「LMS」は洋服のサイズみたいですが「ライト・ミュージック・ソサエティ」の頭文字で、実力はプロ級。習志野市内で月2回、同好者が集まって演奏を楽しんでいるバンドで、2月18日(日)には、習志野市の菊田公民館でコンサートを予定しています。

この後飛び入りで、



今年で4年目のLMSジャズオーケストラ

藤崎習志野市議などがウクレレ伴奏付きで、安倍政治を皮肉った替え歌を披露しました。1曲目は「戦争を知らない子供たち」の替え歌で「戦争が大好き安倍晋三内閣」。歌詞は「♪戦争が終わって俺たちは生まれたーそろそろドンパチ始めてみたいなー大人になったら権力を握ったー平和の憲法改正したくなるー俺たちの名前をおぼえて欲しいー戦争が大好き安倍晋三内閣」で3番まである。もう1曲は、「ラブ・イズ・オーバー」の替え歌で「ラブ・イズ・オーバー」、会場の皆さんから大う

最後に、新社会党千葉県本部の議員団と予定候補者が演壇に並び決意を述べたあと、閉会しました。

主張したい。



石井俊雄委員長

講演会」の講師は、中央本部の岡崎宏美委員長です。当日夜は、委員長の地元兵庫県本部の新春のつどいということでしたが、日程調整をして来ていただきました。講演は「前へ共に！幸せに生きる社会をつくる」と題して、約1時間にわたってお

話していただきました(2面に要旨)。

県本部の課題 全力で取り組む

第2部の冒頭、県本部・石井俊雄委員長は「昨年の衆議院選挙で改憲勢力が3分の2を上回る結果となった。非民主的な今の小選挙区制を一日も早く改め、やめさせ、少なくとも、前の中選挙区制に戻すようにすることが大事だ。沖縄では、5ヵ月連続してオスプ

レイや米軍のヘリコプター事故が続いている。根本的な原因は日米安保条約にあり、新社会党はこれを認めていない。世界的な動きをみると、トランプ大統領の言動や政策などを含め、危険な方向に進みつつある。今年の県本部としての課題として①安倍政権は、憲法改悪の国民投票を行うおうとしている。私たちはこれを阻止するため全国で3000万署名を取り組んでいる。

各議員は最低一人30筆やり抜こうと意志統一している。この4月には長生村議選、5月には野田の市議選があり、現有議席を必ず確保する決意でいる」とあいさつしました。

中央本部を代表して、橋本部長は「3000万署名をやり切れば今の情勢を変えられる。この数字はきついが、戦後2回3000万以上の署名を集めた事例がある。しかし、今と情勢が違

う。当時は総評と労働組合が前面に立って取り組んだ。今はその力がない。向こうが用意周到であるなら、こちらは手足を使ってこまめに歩きまわり情勢転換のきっかけを作りたい」とあいさつ。

憲法を活かす会・世話人の廣瀬理夫弁護士は、「改憲勢力は1000万署名を達成した。なんとでも3000万署名を成し遂げたい」と決意を述べました。

我が国は人口減少と超高齢化の下で社会保障制度をどう確立するか大きな課題である。テーマは二つあり、その一つは「人生100年時代」を見据えた医療・介護体制改革。もう一つは賦課方式の破綻であり、現在では、あらゆる世代にわたって格差と貧困が蔓延しており、全世代に対する生活保障への転換である。▼団塊世代の高齢化に伴い今後は75歳以上の後期高齢者の割合が急速に高まる。医療や介護のニーズは激増する。4月には6年に一度の診療・介護報酬の同時改定が行われる。その他子育て支援や働き方改革の推進など私たちの暮らしにとっても重要な課題が山積している。▼最近社会保障制度が財政上破綻するという悲観的立場に立つ人もいるが、それならば、内部留保資産、海外投資、税逃れの資産はあり余る程あるなかで、現在の税財政制度を根本から見直して社会保障の充実に資するべきだと主張したい。

